

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-142	A-110	24-063 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
<b>題名 (原題/訳)</b>		
Alcohol and cause-specific mortality in Russia: the Know Your Heart Study 2015-23 ロシアにおけるアルコールと死因別死亡率：Know Your Heart 調査 2015-23		
<b>執筆者</b>		
Mitkin NA, Brenn T, Unguryanu TN, Malyutina S, Cook S, Kudryavtsev AV.		
<b>掲載誌</b>		
BMC Public Health. 2024 Nov 12;24(1):3128. doi: 10.1186/s12889-024-20674-8.		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
アルコール、循環器疾患、外因、死亡、新生物、危険因子、ロシア		39533329
<b>要 旨</b>		
<p><b>背景：</b> ロシアにおけるアルコール関連死亡率は世界平均を上回り、重大な公衆衛生上の懸念事項となっている。本研究では、アルコール消費量が死亡率に与える影響を評価し、アルコール関連診断（ナルコロジー患者）をうけ治療を受けている人々を含む死亡予測因子を検討する。</p> <p><b>方法：</b> ロシアのアルハンゲリスクで実施された「Know Your Heart」研究（2015～2017年）に参加した 35～69 歳の男女 2,629 名を調査した。参加者は 5 つの飲酒レベル（非飲酒、低リスク、危険、有害、ナルコロジー患者）に分類され、地域死亡率データベースを用いて追跡調査された。Cox 比例ハザード回帰を用いて、ナルコロジー患者と一般集団における死亡予測因子としての社会人口学的および心血管バイオマーカーを分析し、5 つの飲酒レベル間で死亡リスクを比較した。</p> <p><b>結果：</b> 中央値 6.3 年の追跡期間中に、223 名（8.5%）が死亡した。年齢・性別標準化全死因死亡率は、10 万人年あたり、非飲酒者では 1,229 名（95%CI：691-1,767）、低リスク飲酒者および危険飲酒者ではそれぞれ 890 名（95%CI：684-1,096）、877 名（95%CI：428-1,325）、有害飲酒者では 2,170 名（95%CI：276-4,064）、ナルコロジー患者では 4,757 名（95%CI：3,384-6,131）であった。死亡原因の上位は、心血管疾患（37.2%）、腫瘍（20.2%）、外因（13.9%）であった。低リスク飲酒者と比較して、ナルコロジー患者の死亡リスクは高く、全死亡率のハザード比は 3.23（95%CI: 2.02-5.16）、心血管疾患は 3.25（95%CI: 1.52-6.92）、外因は 9.36（95%CI: 2.63-33.3）、その他の原因は 7.79（95%CI: 3.34-18.1）であった。腫瘍関連死亡率は群間差は認められなかった。一般集団の全死亡率は、喫煙、ウエストヒップ比、安静時心拍数、収縮期血圧、高感度 C 反応性タンパク質と正の相関を示し、左室駆出率および高学歴とは負の相関を示した。これらの相関はナルコロジー患者においては著しく弱く、有意ではなかった。麻薬学患者の心血管疾患による死亡率は高学歴になるほど高くなったが、男性の性別、左室駆出率、脳性ナトリウム利尿ペプチドの N 末端プロホルモンは一般人口サンプルと比較して影響が小さかった。</p> <p><b>結論：</b> ナルコロジー患者の死亡リスクは著しく高く、全死因および心血管疾患による死亡リスクは 3 倍、外因による死亡リスクは 9 倍、その他の原因による死亡リスクは 7 倍であった。一般集団と比較して、ナルコロジー患者の死亡予測には従来の死亡リスク因子があまり役に立たなかった。</p>		